

海業の事業計画骨子（案）【福井県高浜町 高浜漁港】①

1. 現状と課題

【地域・水産業の現状と課題】

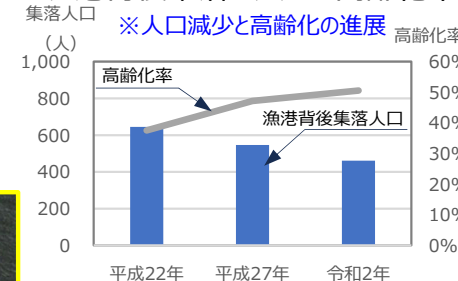
- 福井県の最西端、京都府舞鶴市、福井県小浜市という観光地にはさまれた町。若狭湾に面し、海水浴場として有名。
- 人口減少や少子高齢化への対応として平成21年に高浜町コンパクトシティ構想が策定され、高浜漁港はにぎわい・景観系と位置付けられた。高浜水産業振興協議会による検討を経て、漁港の再整備が進められ、令和3年に6次産業施設UMIKARA、令和5年に荷さばき所が移転し、衛生管理型の新たな荷さばき所が完成した。

【海業の現状と課題】

- 隣接する和田地区も含め海水浴場が多く、SUP等のアクティビティ、釣り、漁業体験も実施しているものの、利用が夏に集中するため、周年型の観光に向け、春・秋・冬の海業資源の発掘と商品化が求められている。
- 6次産業化施設で、直売所・レストランが開設されているものの、漁協経営強化や漁業者の利益に資する取組の拡充が求められている。
- 取組が高浜漁港周辺に限られており、すそ野を町全体に広げること、関係による魅力向上や波及効果の拡大が望まれている。
- 機能移転後の旧荷さばき所・旧漁協事務所や低利用地等、漁港施設の有効活用や景観形成等が望まれている。



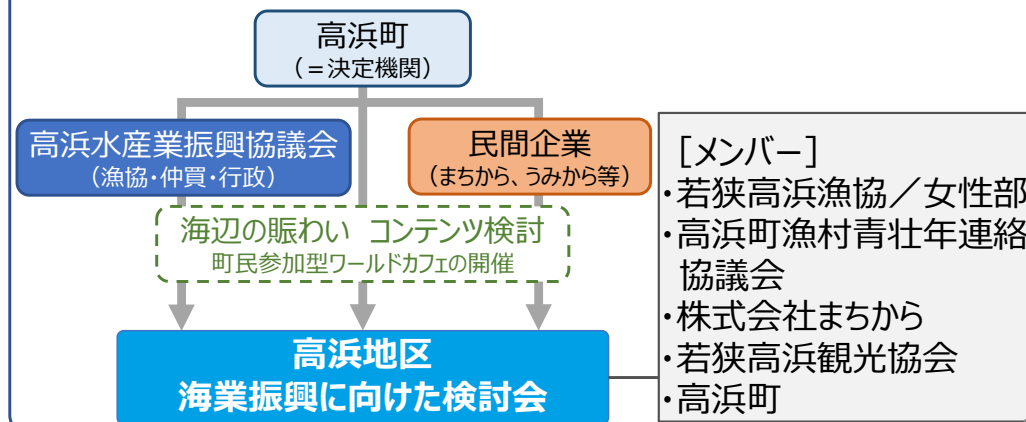
■ 漁港背後集落の人口と高齢化率



■ 高浜漁港の出荷先別配分数量



2. 検討体制



海業の事業計画骨子（案）【福井県高浜町 高浜漁港】②

3. 海業の方針

高浜町のにぎわい・景観を形作る核として、高浜漁港において高浜の水産物を活用した様々な海業（食・直売・体験等）を展開するとともに、既存資源の有効活用と海業拠点との連携、漁協経営強化・漁家所得向上システムの構築を図っていく。

【取組】

- 海鮮バーベキューや朝市・昼市鮮魚直売等による**高浜産水産物の消費拡大、付加価値向上**
- 漁船を活用した遊覧船や漁業体験、海の学校等、アクティビティの創出による地域の魅力の増大と漁業者の所得向上（※**兼業所得機会の創出**）
- 上記取組の支援と**海業のすそ野を広げる取り組みの展開**
（既存資源の有効活用、高浜町全体への効果の拡大、漁協経営強化、漁業所得向上システムの構築 等）



4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

①海鮮バーベキュー場（民間）

【期待される効果】

- 高浜産水産物の消費拡大
- 漁業者の所得向上
- 観光客の滞在時間の増加
- 賑わいの創出

○実証試験の実施： 海鮮バーベキュー場

※仮設の施設等による試験実施
（駐車場予定地を活用）

②遊覧船事業（発着場整備：高浜町、運営：民間）

※内浦湾の大断崖等をめぐる漁船遊覧船クルーズ

【期待される効果】

- 観光客の滞在時間の増加
- 観光地としての魅力増大
- 地域の雇用創出

③漁業体験（セリ/定置網水揚げ見学等）（漁協又は漁業者有志）

※網あげ見学体験は遊覧船発着場又は和田港活用

【期待される効果】

- 観光客の滞在時間の増加
- 観光地としての魅力増大
- 高浜の水産業の理解増進
- 漁業者の所得向上

④朝市・昼市鮮魚直売（漁協又は漁業者有志）

※荷さばき所と出荷調整施設間の道路を一時占有で活用

【期待される効果】

- 観光地としての魅力増大
- 高浜の水産業の理解増進
- 高浜産水産物の消費拡大
- 漁業者の所得向上

⑤旧漁協事務所・用地の活用

※城山地区の整備状況を踏まえて総合的に検討（駐車場等も検討中）（長期計画）

